



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所：新潟市東総合スポーツセンター
 試合区分：少年男子 準決勝
 開催期日：2009年10月4日(日)
 開始時間：11:55

GAME No. 1004F2

主審：山田 巧
 副審：芳賀 聡

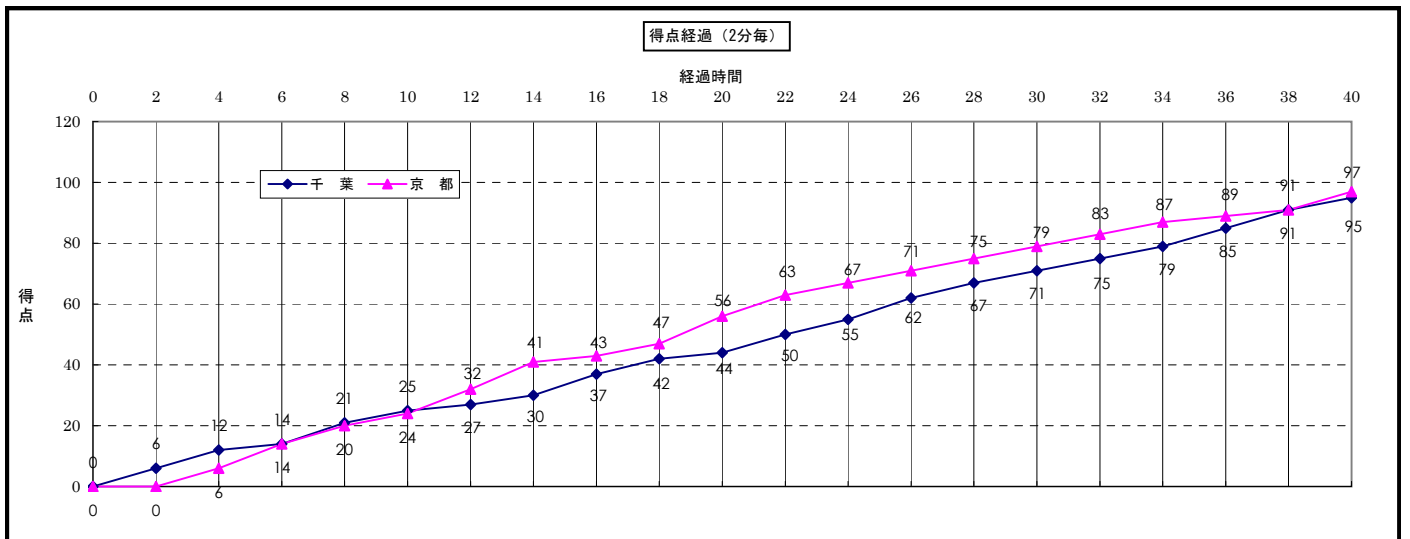
Team A	●	25 -1st- 24 19 -2nd- 32 27 -3rd- 23 24 -4th- 18	○	Team B
千葉	95		97	京都

TEAM A		千葉					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	森山 翔太	25	3	5	6	1
5	*	藤岡 昂希	18	0	8	2	3
6	*	齋藤 滉太	14	1	5	1	3
7	*	安田 太樹	17	1	6	2	4
8		出羽 峻一	-	-	-	-	-
9		尾崎 達規	0	0	0	0	0
10	*	服部 雄登	16	4	2	0	1
11		岡田 福嗣	5	1	1	0	2
12		城間 真斗	0	0	0	0	0
13		向後 史彦	0	0	0	0	1
14		平田 和哉	0	0	0	0	0
15		山田 侑樹	-	-	-	-	-
Coach		飯沼 加寿夫	-	-	-	-	0
TOTAL			95	10	27	11	15

TEAM B		京都					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	蛭名 涼	27	1	11	2	2
5	*	小林 遥太	8	0	4	0	4
6	*	鈴山 高範	5	1	1	0	3
7		河上 宗平	17	1	6	2	0
8		塩谷 亨	7	0	2	3	0
9		大八木 誉之	8	0	3	2	2
10		高畑 勇吾	0	0	0	0	1
11	*	木村 晃大	2	0	0	2	1
12		平野 哲朗	5	1	1	0	0
13		笹山 貴哉	2	0	1	0	0
14	*	満山 拓末	16	4	2	0	2
15		荒谷 優斗	-	-	-	-	-
Coach		作本 信夫雄	-	-	-	-	0
TOTAL			97	8	31	11	15

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	8:48	12:23	32:47	36:18		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	16:35	-	34:41	39:31		



ゲームレポート

* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

1Q、両チーム共にディフェンスはマンツーマンでスタート。先制点は千葉#4森山のジャンプシュート。そのまま、千葉が連続得点し主導権を握る。しかし、京都は#14満山の連続3Pなどで落ち着きを取り戻し、じりじりと点差を詰め、残り2分、速攻から#4蛭名のシュートで逆転。すると、千葉はタイムアウトを請求し修正。#4森山、#7安田のシュートが決まり再逆転。千葉25-24京都で1Qを終了。

2Q、開始早々#14満山が3Pを沈め京都が逆転。それを機に京都がペースを掴む。たまたま千葉は開始3分、前半2回目のタイムアウト。しかし、京都の勢いは止まらず、#6鈴山の3Pなどでさらに引き離しにかかる。悪い流れを変えたい千葉は、5人全員を入れ替え、ディフェンスのあたりを強め、速い展開に持ち込み猛追。残り3分で2点差まで詰める。しかし終盤、千葉のミスに京都は見逃さず、#12平野の3Pや速攻で再度突き放し、千葉44-56京都で前半を折り返す。

3Q、#4蛭名がリバウンドからバスケットカウントを奪うなど京都が点数を重ねれば、千葉は#10服部の切れのあるドライブからのシュートやパスで応戦。互いに譲らず一進一退の攻防が続く。終盤、#4森山の3Pなどで千葉がじわりと点数を詰めると、残り1秒で#6齋藤がリバウンドシュートを決め、千葉71-79京都で8点差で千葉が盛り返し3Q終了。

4Q、追いつきたい千葉は開始3分タイムアウト。そこから#4森山の連続得点で4点差まで詰め寄る。しかし、京都は#7河上が力強いブロックショットやゴール下のシュートで追い上げを防ぐ。最後の追撃をかけ、千葉は残り3分42秒タイムアウト。そこから、#4森山、#10服部が連続3Pで遂に同点。会場全体に緊張感が漂う中、残り1分、#8塩谷のゴール下が決まり京都がリード。しかし残り24秒千葉#7安田が京都のチームファウル5つ目を誘い、フリースローを決め再び同点。このまま延長かと思われた残り1秒、京都#5小林のミドルシュートがゴールに沈み、95-97で京都が劇的な勝利を収めた。

記載責任者 泉田 亮 (所属) 新潟県バスケットボール協会